様式２

## 令和５年度 ダイバーシティ推進センター女性研究者賞 受賞候補者調書

令和５年　 月 　　日

|  |
| --- |
| Ⅰ．履 歴 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ |  | 印 | 生年月日 | 西暦 年 　月　 日 |
| 氏名 |  |
| 所属（機関・部局） |  | 職 |  |
| 連絡先 | TEL: |
| E-mail: |
| 学歴 |
| 年月 | 事項 |
| 1977 年 3 月1977 年 4 月1979 年 3 月1987 年 3 月 | 【記入例】大学卒業から記入すること。○○大学○○学部○○学科卒業○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程入学○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程修了（学位、論文名）博士（○学）・○○大学、○○○○に関する研究 |
| 職歴 |
| 年月 | 事項 |
| 1979 年 4 月1981 年 4 月1987 年 11 月2010 年 10 月 | 【記入例】○○株式会社入社○○大学○○学部助手○○大学○○学部講師○○大学○○学部准教授（現在に至る） |
| Ⅱ．研究業績（各業績について適宜, 行の追加可） |
| １．これまでの業績のうち, 特記すべき研究論文・著書について記載してください。 |
| 論文等題目 | 発行年月 | 掲載誌（巻・ 号・頁） | 著者名（責任著者に＊を付けてください。） |
| （例）○○○○ | 2020.4 | ○○○○（2・3・pp88-99） | 奈良花子＊，大阪花子 |
|  |  |  |  |

- 1 -

様式２

|  |
| --- |
| ２．学会発表，国際会議等の基調講演，招待講演（これまでの業績のうち, 特記すべきものについて記載してください。） |
| 題名 | 発表年月 | 発表学会等名 | 特記事項 |
| （例）○○○○ | 2019.9 | 国際○○会議 | 招待講演 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ３．特許（出願公開前の特許については支障のない範囲で記入してください。未登録の特許の場合，「登録番号」は記入不要です。） |
| 発明名称 | 出願番号 | 登録番号 | 発明者 |
| （例）○○に関する○○ | 特願 2018-X | 特許第○○号 | 奈良花子（奈良女子大学），大阪太郎（○○株式会社） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ４．研究資金獲得実績（過去５年間の業績について記載してください。機関内公募研究費についても記入可能です。） |
| 研究課題名 | 研究期間 | 資金種別配分機関名研究費総額 | 共同研究者（ 氏名及び機関名） |
| （例）○○に関する研究 | 2019.4.1～2021.3.31 | 共同研究費○○株式会社5,000 千円 | 大和太郎（奈良女子大学），名古屋一郎（○○株式会 社） |
|  |  |  |  |
| ５．その他特記すべき研究業績（受賞歴等, 上記に該当しない業績を記入してください。） |
|  |

- 2 -

様式２

|  |
| --- |
| Ⅲ．支援を受けたい研究内容（欄が不足する場合は適宜追加可、ただし本ページを含めて 2 ページ以内に書いて下さい。） |
| １．研究課題名 |
|  |
| ２．研究目的 |
|  |
| ３．これまでの研究内容（「Ⅱ研究業績」の内容及び国内外の関連する研究分野の動向と関連付けて説明してください。出産・育児等のライフイベントにより研究中断の時期がある場合にはその旨記載してください。） |
|  |
| ４．今後の研究計画（「２．研究目的」を達成するための具体的な研究計画を書いて下さい。） |
|  |

- 3 -